

羽島の本社に新工場、直営店建設



パンの製造工場と直営店「コッペ亭」の完成予想図

損害保険の調査業務などサポート事業を手がける保安企画(羽島市丹橋町本町、渡辺勉社長)は、福井市内で旗揚げした新規事業のコッペパンの製造、販売事業の規模拡大を進める。羽島市の本社隣接地に8月中の稼働を目指してパンを焼く工場と東海地区初の直営店を建設する。パンを焼く工程を新工場に集約し、生産能力を4倍超に高めるとともに、事業の本拠地とする北陸以外で初の店舗展開となるため、全国展開への足がかりとする。

(富樫一平)

保安企画、パン事業拡大

8月稼働、生産能力4倍超

保安企画は、交通事故後の破損物の修繕や損害保険に関する調査業務などを展開。事業の多角化や、新規参入のしやすさから2017年11月にコッペパンの製造、販売を事業化した。

手作りにこだわった総菜と、スイーツパン計50種以上を取りそろえる「コッペ亭」として、福井、石川県内に計6店舗と、キッチンカー1台を展開。現在は福井市内の本店で毎日約1800個を製造しているが、エリア拡大のためには生産能力を高める必要があり、2カ所目となる生産拠点の整備を決めた。

新工場は鉄骨2階建て。

直営店と合わせた延べ床面積は約690平方メートル。出来上がったパンを急速冷凍する最新技術などを導入し、1日最大8千個のパン製造が可能になる。総投資額は約4億円。新工場と直営店で30人以上の従業員、アルバイトを雇用する。パンに挟む具材の製造は、セント

ラルキッチン機能を持つ福井市の本店が引き続き担当。直営店としては7店舗目で、1年以内に愛知県内への進出も視野に入れる。担

当する高嶋久美子本部長は「キッチンカーも4台増やす計画。新工場の稼働から1年以内に、食品事業の売り上げを社全体の1割に引き上げたい」と語った。

